

登壇

司会：ただいまより、GMO リサーチ&AI 株式会社、2025 年 12 月期第 1 四半期決算説明会を開始いたします。本日はお忙しい中、オンライン決算説明会にご参加いただき、誠にありがとうございます。

本日の決算説明会には、GMO リサーチ&AI 代表取締役社長、荻田剛大、専務取締役、森勇憲の 2 名が出席しております。

これより、代表取締役社長、荻田剛大から、2025 年 12 月期第 1 四半期決算概要についてご説明させていただき、その後、Zoom ウェビナーの挙手機能を利用し、皆様からのご質問をお受けいたします。詳しい操作方法につきましては、質疑応答のお時間の際に改めてご説明いたします。

それでは荻田社長、お願いいたします。

荻田：それでは、決算説明会を開始いたします。

本日のアジェンダは、こちらのとおりです。

業績ハイライトからになりますが、まず、本資料での開示範囲についてお話しさせていただきます。

本資料は、GMO リサーチ&AI 社の 1Q 業績が開示対象となっており、4 月 1 日からの連結対象である GMO タウン WiFi の 1Q は連結前なのですけれども、参考情報として開示をしたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

では、GMO リサーチ&AI です。

結論は、売上高と利益が減少してしまっております。

売上高は、昨年対比でマイナス 3%、営業利益が、一過性の統合費用を除くと、マイナス 45%となっております。

非常に厳しい状況だと思っております、ここから構造改革を実現していきたいと感じておりますが、そもそもの課題は何かというところを、ぜひ今日お話をさせていただければと思っています。

リサーチ事業の課題は、労働集約型ビジネスであることだと認識しております。

サポート

日本 050-5212-7790

フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



労働集約型ビジネスですので、固定費負担が重く、売上減少がそのまま利益を直撃してしまうようなビジネスモデルになっています。

もともと営業利益率が低い状態なので、今回の 1Q のように、競争環境が激化してしまって売上が下がると、利益率が大きく悪化して赤字の月も出てしまうという、この労働集約型ビジネスであることがリサーチ事業の本質的な課題なのだろうと感じており、これをぜひ解決したいということで、今、構造改革が動いております。

構造改革は、シンプルに申し上げますと、労働集約型からプロダクト型・ストック型の事業に変えていくというのが概要です。

現状のビジネスは労働集約型ですので、他の会社さんとの差別化が非常に困難でして、どうしても価格の差別化がメインになってしまうため、結果的に価格競争になり、売上への悪影響があるというような、非常に良くない状態だと思っています。

それを、構造改革によってプロダクト型にすることによって、GMO らしくストック型のナンバーワンプロダクトを提供し、そのプロダクトを改善することで他社との差別化を実現し、プロダクトが良いので他社ではなく弊社を選んでいただけるという状態にして、高利益率を実現していきたいと考えています。

私が実施するべきは、まずこの構造改革だと思っており、ここには全力を投じているので、通期業績見通しは、この構造改革の目処がつき次第、とさせていただきたいです。

株主の皆様には、通期業績見通しが出せないことを大変申し訳なく思っております。

通期業績見通しを出すからには、絶対にコミットできる数字にしたいので、この構造改革を実現し、私が自信を持って通期業績見通しを発表できるようになったタイミングで速やかに発表したいと思いますので、もうしばらくお待ちください。

さて、参考開示として、GMO タウン WiFi の数字も表で開示しております。

結論としては、非常に大幅な成長を遂げていて、プロジェクトの UX 改善と堅調な広告トレンドによって、売上高は昨年対比でプラス 101%、営業利益はプラス 268%と、大きく成長を遂げています。

あくまでも参考なのですが、単純合算すると、売上高で昨年対比プラス 20%伸びており、統合費を除くと、プラス 86%の営業利益の成長を遂げております。今期の通期連結では GMO タウン WiFi が入ってくるので、良い報告ができるといいなと思っています。

サポート

日本 050-5212-7790

フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

さて、GMO タウン WiFi について、なぜこんなに好調なのか、ということも含めてお話させていただきます。

サービスとしてはシンプルでして、フリーWi-Fiに簡単に接続できて、フリーWi-Fiにつながるとポイントを貯められる、というビジネスです。

ビジネスモデルも非常にシンプルでして、一般的なポイ活アプリと同じです。動画広告を見たり、アフィリエイトで何か商品を買ったりするとポイントが貯まり、その収益がポイントの原資になるという、一般的なポイ活アプリと同じくシンプルなビジネスモデルです。

逆に、一般的なポイ活アプリの違いは何かというと、ポイントがUXを向上する手段になっていることです。

一般的なポイ活アプリは、ポイント獲得を目的としてアプリを使うと思いますが、GMO タウン WiFi の場合は、アプリを使う目的は通信料の節約でして、その結果、UXとして簡単にWi-Fiにつながるし、ついでにポイントも貯まるというような、あくまでもUXを向上する手段としてのポイントであるという点が大きな違いです。

今後の事業方針は、GMO タウン WiFi の成長サイクルを加速していくことです。

われわれは、キ体験に基づいたポイント機能の導入によってプロダクトのUXを向上させ、合わせて、ポイント部分が収益になっていますので、収益の増加も実現できます。その結果、収益が生まれるので開発投資ができるようになり、さらにプロダクトのUXが良くなるというような成長サイクルを実現しています。

今回の経営統合で、この収益増加部分にGMO リサーチ&AI が提供するアンケート機能が追加され、収益のマネタイズモデルが強化されたというのが、この経営統合の効果だと思っています。

今後は、新生 GMO プロダクトプラットフォーム社として、タウン WiFi での成功事例をさまざまなプロダクトに展開していき、より大きな成長を遂げていきたいと思っておりますので、皆さんもご期待いただければ幸いです。

以上、簡単でございますが、私からの説明といたします。

ご清聴ありがとうございます。

サポート

日本 050-5212-7790

フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

質疑応答

司会 [M]：それではこれより、質疑応答の時間とさせていただきます。まず、質疑応答の流れについてご説明いたします。ご質問を希望される方は、視聴画面の下側にあります挙手ボタンを押してください。お電話でご参加されている方は、※印の後に数字の9を押していただくと挙手をすることができます。挙手された方を順番にご指名いたしますので、ご指名されましたら、ご自身の画面でミュート設定を解除した上で、口頭でご質問をいただきますようお願いいたします。その際、会社名とお名前をお伝えいただいた上でご発言ください。なお、チャット欄からのご質問も受け付けております。ご質問がございましたら、チャット欄に入力の上、送信してください。

それではご質問のある方は、視聴画面の挙手ボタンを押してください。ご質問ございませんでしょうか。ご質問がある方は、視聴画面の挙手ボタン、またはチャットにてご質問ください。

まだお時間はございますが、ご質問がないようですので、質疑応答を終了させていただきます。

以上をもちまして、GMO リサーチ&AI 株式会社、2025 年 12 月期第 1 四半期決算説明会を終了させていただきます。本日はご視聴いただき、誠にありがとうございました。こちらのウェビナー終了後、アンケートのご協力依頼の画面に遷移しますので、ご回答いただきますようお願いいたします。それでは失礼いたします。

[了]

脚注

1. 音声不明瞭な箇所に付いては[音声不明瞭]と記載
2. 会話は[Q]は質問、[A]は回答、[M]はそのどちらでもない場合を示す

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、SCRIPTS Asia 株式会社（以下、「当社」という）は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて利用者の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して利用者が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com